

4段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
-------	--------	-----------	------------	----------

令和元年2月19日

学校経営 ビジョン	～必要なことを必要なタイミングでフットワークよく実践する教育～ ○ 確かな学力の向上 ○ 豊かな心の育成 ○ 健やかな体の育成 ○ 望ましい食習慣の育成
--------------	--

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己評価		結果の考察・分析および改善策等
				取組別	総合	
知育	目標：確かな学力の向上 ■手段・ゴールイメージ ① 分かる授業の展開 ② 個に応じた指導の充実 ③ ICT機器の効果的活用 ④ 地域人材を活用したキャリア教育の充実 ⑤ 新聞を活用した学び方の工夫改善(*NIE)	①②について ○ 本時の授業を振り返る小テスト等で、学習内容の定着を確認する。	①について ○ 知識・技能の定着の時間を確保する。	3	3	①②について □ 1・2学年においては上位層が少なく、下位層が多い状況であった。基礎学力の定着を図り、特に1学年の下位層の引き上げが急務である。 ○ 学び方の質の高まりが出てき始めている。
			②について ○ 昼休み及び放課後の時間を使って、個別指導を行う。			
		③について ○ 各教科ICTの活用率を70%以上。	③について ○ 効果的な活用を図る研修会。	4		③について ○ 担当職員を中心に、研修を適宜行うことで目標が達成(100%)され、デジタル教科書を中心としたICTの活用が活性化された。タブレットも導入され、今後より一層の効果が見込まれる。
		④について ○ 本校ならではのキャリア教育の実施。	④について ○ 職場体験学習、未来予想図発表会、郷土料理等の地域人材を活用した取組。	4		④について ◎ 「こすもす科」を軸として、地域の人材を活用したキャリア教育の充実が図られた。生徒一人一人の今後の生き方に多大なる影響を与えていただいた。社会に開かれた教育課程の充実が実現されていると考える。 ○ KSSVCからは、質の高まりを評価していただいている。
		⑤について ○ 自分の考えを明確に伝えることができる。	⑤について ○ 視写及び1分間スピーチの実施。	3		⑤について ◎ 今年度からの取組ではあるが効果はあると思われ、文字を丁寧に書く生徒が増えてきてい

						る。 □ 1分間スピーチ当番時のみの新聞活用に留まっている。
徳育	目標：豊かな心の育成 ■手段・ゴールイメージ ① 道徳の時間の充実 ② 人権教育の充実 ③ 問題行動等への早期発見・早期対応 ④ 生徒会活動の充実 ⑤ 読書活動の充実及び新聞を活用した学び方の工夫改善	①～②について ○ いじめ解消率100%。	①～②について ○ 月1回のいじめ調査や週1回の情報交換、年3回の教育相談、関係機関との連携。 ○ 「無限の命集会」、「西諸人権を考える取組」及び「命の教育週間」の取組を通して、命、人権に対する意識を高める。	3	3	①～②について ◎ 日頃の生徒理解及び月1回のいじめ調査を通して、生徒一人一人の学級や部活動における状況を全職員で把握できるよう、情報交換や指導の在り方などを日々、組織的に協議している。 ◎ 今年度は、実際にわが子を交通事故で亡くされた方を講師に招き、命の尊さについて講話をいただき、生徒たちの心に響いたと感じる。
		③について ○ 事案が発生した場合には、即対応を心がける。	③について ○ 報・連・相を速やかに行い、職員全員で共有しあう。	4		③について ◎ 報・連・相が速やかに行えたこと、また全職員で対応したことにより、大事に至った事案は発生していない。
		④について ○ 自治活動ができる。	④について ○ 委員会の統合（生活委員会と保健委員会）。 ○ STA運動の実施（先に立ち止まって 明るいあいさつ）。	3		④について □ 生徒数の減少により、統合に至ったが、活動内容を精選できていなかったため、活動量が増え、負担になっている面がある。 ○ 個人差はあるものの、来客等へ好印象であった。今後も続けていきたい。
		⑤について ○ 1人年間読書20冊以上。	⑤について ○ 図書館協力員と連携を図りながら、委員会活動を活性化させる。 ○ 1分間スピーチ及び視写の実施。	3		⑤について ○ 達成状況は、1年59%、2年58%、3年72%であった（12月末現在）。10冊未満の生徒は、1年8%、2年16%、3年0%。担当職員及び委員会活動も工夫しながら取り組んだ。今後も継続して活動を行っていきたい。
体育	目標：健やかな体の育成 ■手段・ゴールイメージ ① 立腰指導の徹底 ② 体力向上プランと部活動による体力向上 ③ 虫歯治療率100%に向けた取組の充実	①について ○ 立腰ができる生徒100%。	①について ○ 授業、行事や集会等での号令の徹底。	3	3	①について ◎ 授業・その他の時間において、始めと終わりの「立腰」はほぼ徹底されている。 □ 普段の生活の中でも、自ら意識できるよう、今後も継続した指導を行っていきたい。
		②について ○ 体力テストにおいて、県平均を超える割合が60%以上。	②について ○ 保健体育授業の充実及び部活動生集会における生徒の主体的な取組の充実。	2		②について □ サーキットトレーニングの導入や部活動生集会において、部員自ら主体的に取り組む指導を行ったが、37.5%に留まった。（部活動加入率68%）

	④ 生活習慣病に対する意識の向上 ⑤ 新聞を活用した学び方の工夫改善	③について ○ 虫歯治療率100%。	③について ○ 全校集会、学級、部活動において受診の呼びかけ。	3		③について ○ 養護教諭を中心に、学級担任・部活動顧問とあらゆる角度からの呼びかけを行い、受診を促したが、保護者の意識に差異があり、受診に行けないケースもあった。 (第2学年は治療率100%)
		④について ○ 肥満度30%以上の生徒の減少。	④について ○ 養護教諭との面談を通して、本人への自覚を促し、食生活の改善を図る。	3		④について ○ 養護教諭の働きかけで、該当者が運動及び食事の記録を取り始め、数値は低下してきている。
		⑤について ○ 1分間スピーチで発表。	⑤について ○ 新聞に掲載されている関連する内容を読み取れるようにする。	2		⑤について □ 教師側の意図的な仕掛けが十分でなく、更に工夫改善を図る必要がある。
食育	○ 望ましい食習慣の育成 ■手段・ゴールイメージ ① 弁当の日を要とした食育指導の推進	①について ○ 弁当の日2回実施。	①について ○ 市給食センターの栄養教諭と家庭科担当や養護教諭等の連携した取組。	4	3	①について ◎ 養護教諭が中心となり、家庭科担当とともに年間の計画を立て、市給食センターの栄養教諭と連携した取組を充実させている。
	② 給食残食0に向けた取組の充実	②について ○ 給食の残食量ゼロ。	②について ○ 給食委員会の残食量調査や放送や掲示等での呼びかけ。	3		②について ◎ 給食委員会による残食量調査などが継続して行われているため、ほぼ残食はゼロである(残食月1日程度)。 ○ 好き嫌いで残食ではなく、量が多かったり時間が足りなかったりの理由であり、次年度は完全ゼロを目指したい。
	③ 食事のマナーと望ましい食習慣の実践力向上	③について ○ 給食時間でのマナーの向上。	③について ○ 食器の置き方、箸の持ち方、肘をつかないなど、基本的なマナーについて、放送などでの呼びかけ。	3		③について ○ 学級担任にも協力をいただきながら、給食指導を行った。習慣化するためには家庭の協力も必要である。
	④ 自己管理能力を高める取組の充実	④について ○ 朝食の欠食生徒ゼロ。	④について ○ 朝食摂取調査を毎月の実施及び家庭への呼びかけ。	3		④について ○ 6月の調査では16名の生徒が朝食を欠食であったが、12月の調査では7名(8%)に減少してきている。欠食者は固定化している。
	⑤ 新聞を活用した学び方の工夫改善	⑤について ○ 1分間スピーチで発表。	⑤について ○ 新聞に掲載されている関連する内容を読み取れるようにする。	2		⑤について □ 教師側の意図的な仕掛けが十分でなく、更に工夫改善を図る必要がある。

次年度の方向性についての校長所見	<ul style="list-style-type: none">○ 知育については、生徒の学びへの意欲を高め、わかる楽しさ、できる喜びを実感する授業づくりに力を入れ、職員の授業の質を高めることにより、学力向上に努める。○ 徳育については、生徒が主体的に自治活動ができるように、リーダー研修会の内容を工夫し、夏休みに時間をかけて実施することで、生徒の人材育成に努める。また、個別対応の充実を図り、不登校生やいじめのない魅力ある学校づくりに努める。○ 体育については、保健体育の授業を中心に、基礎体力の向上に努めるとともに、無限の力の時間の取組内容を工夫改善し、あわせて部活動の充実を図り、生徒の体力向上に努める。また、虫歯治療率 100%を達成するために、保護者への啓発に努める。○ 食育については、朝食に対する関心を高め、バランスのとれた食の重要性の認識を深めさせるとともに、「弁当の日」の充実を図っていく。また、給食の残食量ゼロを目指し、食の大切さや食への感謝の心を育て、健康に対する意識の高揚を図る。○ 上記を含め、職員・保護者・地域の方々と連携し、学校教育（学力向上）や家庭教育（子育て）のアップデートに努め、学校全体の質の向上に努める。
------------------	--